



第 14 回 例会 報告 (10月14日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	53名	・出席数	35名	・欠席数	28名
・当日出席率	78.57%	・前々回修正出席率	82.22%		

< 欠席会員 > 檜垣(賢)、原(竜)、冠、小堀、近藤(正)、久米、桑森、松木、竹田、吉田

[免除会員] 青野、原田、門田、松本、宮本、村上、野間、八木

<9/30 欠席補填>(9/21 米山)松木 (10/1 西条)桑森 (10/3 ジェリック)飯 (10/7 松山南)瀧幸

入会式・伊予銀行取締役今治支店長 藤堂宗昭氏、日本興亜損害保険株式会社今治支社長 田中悟氏の入会式が行われました。

会長報告・出席優秀者表彰 100% 36 回 飯忠悟会員、24 回 檜垣圭之介会員、金森節生会員、白石洋治会員、18 回 越智務会員、渡邊道信会員、17 回 吉良敏彦会員、15 回 川上昭一会員、大澤正尚会員、渡辺易廣会員おめでとうございます。

・(財)ロータリー米山記念奨学会より飯忠悟会員へ感謝状が届きましたので贈呈いたしました。

幹事報告・11月18日(木)は職場訪問例会となっております。潮冷熱株式会社 新社屋を訪問いたします。12:30より例会開催。駐車場をご用意しております。また、親睦活動委員の皆様は会場の準備がございますので12時までにお越し下さい。

・次週10月21日(木)は高尾ガバナー補佐訪問日となっております。例会終了後今治国際ホテル2階アイリスの間におきまして第2回クラブ協議会を開催いたします。理事・委員長の皆様はクラブ計画書をご持参下さい。

創立記念例会

尾越優会長：10月17日が当クラブの76周年に当たるので、創立記念卓話としてRCの根本的な所を感じたまま話します。1934年に創立し12月に認証を受けた当クラブでしたが、世界中が世界大戦に突入して行く頃で、景気もどん底の時期でした。当時日本は自由主義、民主主義が抑圧されていた時期で、このような時に今治RCが全国13番目として誕生した。今治でなぜ受け入れられたのか不思議な気がする。多分、西洋的な発想が盛り込まれていたのだろう。日本の国粹主義とは相いれない物があったはず。RCについて当時の今治の皆さんが、その価値を見いだされていた結果だと思う。ポールハリスがRCの集まりを創った訳だが、彼は1891年アイオワ大学を卒業、法学学位を取っている。多くの同級生が弁護士などになったが、彼はアルバイトなどをしながら、米国各地だけではなく外国で長く放浪の旅を続けている。この時期にいろんな事を考えたのだろう。1905年当時不況で荒れずさんだシカゴにおいて、利益優先の時代に対しそれは違うのではないかとの発想で出発した。RCの職業奉仕に絡めて四つのテストがある。1番目は真実かどうか。2番目のみんなに公平かだが、これは単純に商売上の事でみんなに公平かでなくて、すべての日常的な事において公平かと訳している。これは日本の独特な考えであるのではないか。3番目好意と友情を深めるか。4番目みんなのためになるかどうかだが、仕事をして取引相手に利益を与えるかだけでなく、仕事や利害関係だけではなく、みんなのためになるのかどうかと解釈している。そういうものがあつたから、70年も前から日本に定着したのであり、新進気鋭の同士がいる今治において、受け入れられやすい物になって行ったのではないかと思う。この他にRCの綱領がある。今後も深く勉強して行きたい。



次 回 例 会 (10月21日)

【 ガバナー補佐クラブ訪問 】

例会終了後第2回クラブ協議会を開催いたします。

< 結婚記念祝 > 楠本 金也氏 (10/21) 光藤 廣司氏 (10/22) 松木 徹夫氏 (10/22)

[国際ホテル]